

## 洞爺湖町史 詳細項目案

2026.5

		内容(赤字は重点項目として特集扱い)	内容・備考	予定ページ数(A4判換算)
口 絵				16
第1編	自然と風土	序章=伊藤哲也、1章=廣瀬亘、2章=福島豪、3章=小川裕司		1
	序章 町の概要	第1節 洞爺湖町の概略 1-洞爺湖町の位置・気候 2-縄文時代から和人の移住まで 3-明治以降の虻田町と洞爺村 4-合併の簡単な経緯	トータルで5ページ程度と想定	
	第1章 気象		資料がないためカットして序章へまとめる	
	第1章 地形・地質・土壌	仮 第1節 地形 (1) 主な山と河川 (2) 地形分類 第2節 地質 (1) 地質の概要 (2) 山地を作る地質 (3) 丘陵を作る地質 (4) 低地を作る地質 第3節 土壌 (1) 土壌の分布概要 (2) 地域ごとの土壌の特徴 第4節 洞爺カルデラ・有珠山の地形、地質	ジオパークは4編へ アイヌ語地名は削除  ●洞爺湖町の内容に特化は可能？ →基本的には洞爺湖町エリアについての記述ですが、有珠山噴火など影響を及ぼした出来事にも触れる予定	
	第2章 動植物	第1節 洞爺湖温泉地区 第2節 虻田地区 第3節 洞爺地区 第4節 有珠山・昭和新山周辺地区	「洞爺湖町生物多様性基本計画(案)」に基づいて、左記の4地区にわけて、概略と植物・動物のリストを掲載する この計画には「このような多様な環境を背景に、洞爺湖町には貴重な動植物が数多く生息・生育している(付録「生物種リスト」(作成中)参照)」という文言があり、このリストを活用する  第4節では絶滅したと考えられていたタカネハナワラビが再発見されたことを取り上げる	34
	第3章 環境保護(洞爺湖の各種対策活動を中心に)	第1節 洞爺湖町の自然環境保護活動 1-活動の歴史 2-ウチダザリガニの駆除 3-中島のエゾシカの生息数制限 4-洞爺湖町生物多様性基本計画の概要	プレジャーボート対策、中島のエゾシカ対策、ウチダザリガニ駆除等(確定)  想定している内容は下記の通り 1-いつから、どんな活動が始まったか 2-洞爺湖生物多様性保全推進事業、その他の活動(教育活動など) 3-中島のエゾシカの頭数制限の歴史と近年の成果 4-洞爺湖町生物多様性基本計画を紹介する	
第2編	合併前史	第1章=柴田美幸、第2章~第2章=井上美香		1
	第1章 明治以前の洞爺湖町域	1節 縄文・続縄文・擦文 ○北海道での縄文時代までの流れ ○洞爺湖町域の縄文文化 ○洞爺湖町域の続縄文文化 ○洞爺湖町域の擦文文化  2節 アイヌ文化 ○洞爺湖町域のアイヌ文化  3節 近世 ○松前藩による場所請負制「虻田場所」の経営と虻田のアイヌコタン(松浦武四郎「東蝦夷日記」などに記された虻田のようす) ○幕末のロシアの南下と幕府再直轄(1855~1868)	1節は概略とする。出土品については入江・高砂で詳述。近代以降のアイヌ文化については、10編3章。文化については追加で資料や取材が必要な見込みです。 ●旧石器時代についても執筆してほしい(町内大原地区で発見された石器など) →資料をご提供いただければ執筆可能です 2節 ※追加で資料や取材が必要必要な見込みです。旧洞爺村地区はアイヌ文化期の遺構が少ない？ ●遺構が見つかっていないため、旧洞爺村の記述は難しい →遺構については記述できませんが、他の史料(古文書等)で言及があれば、記述します	16

	第2章	旧虻田町	<p>明治以降から合併前までを概史的に扱うが、「虻田町史」「物語虻田町史」以降に重点</p> <p>2-1 明治・大正期 2-1-1 概略 2-1-2 行政・議会 2-1-3 産業 2-1-4 インフラ 2-1-5 教育 2-1-6 その他(①イザベラ・バードの来訪(1878年)、②明治天皇の行幸(1881年)など)</p> <p>2-2 昭和(戦前・戦中) 2-2-1 概略 2-2-2 行政・議会 2-2-3 産業 2-2-4 インフラ 2-2-5 教育 2-2-6 その他(1944年から始まった噴火活動、昭和新山の誕生など)</p> <p>2-3 昭和(戦後)から平成の合併まで 2-3-1 概略 2-3-2 行政・議会 2-3-3 産業 2-3-4 インフラ 2-3-5 教育 2-3-6 その他(※特筆すべき事項がある場合)</p>	<p>重点の中でもどこにポイントを絞るか、要検討</p> <p>※執筆者から各項目に関する詳細あり</p> <p>●旧町村史の後の歴史に重点を置きたい</p>	46
	第3章	旧洞爺村	<p>明治以降から合併前までを概史的に扱うが、「洞爺村史」(S51～)を以降に重点</p> <p>3-1 明治・大正期 3-1-1 概略 3-1-2 行政・議会 3-1-3 産業 3-1-4 インフラ 3-1-5 教育 3-1-6 その他(※特筆すべき事項がある場合)</p> <p>3-2 昭和(戦前・戦中) 3-2-1 概略 3-2-2 行政・議会 3-2-3 産業 3-2-4 インフラ 3-2-5 教育 3-2-6 その他(※特筆すべき事項がある場合)</p> <p>3-3 昭和(戦後)から平成の合併まで 3-3-1 概略 3-3-2 行政・議会 3-3-3 産業 3-3-4 インフラ 3-3-5 教育 3-3-6 その他(※特筆すべき事項がある場合)</p>	<p>重点の中でもどこにポイントを絞るか、要検討</p> <p>※執筆者から各項目に関する詳細あり</p> <p>●旧町村史の後の歴史に重点を置きたい</p>	46
第3編	新町の行政・議会・自治活動		第1章～第5章-金子美里		1
	第1章	合併	<p>背景(旧町村の動き)、合併協議会、住民投票、豊浦町の離脱、新町建設計画、地域審議会、等</p> <p>1-背景(国の動き、旧町村の動き) 2-合併協議会(虻田町、洞爺村、豊浦町での協議) 3-住民投票(各町村の結果) 4-豊浦町の離脱 5-新町建設計画(虻田町・洞爺村新町建設計画の骨子、洞爺湖町まちづくり総合計画の骨子) 6-地域審議会(まちづくり審議会)</p>		14
	第2章	各種計画	<p>町づくり総合計画、地方創生総合戦略、財政健全化計画、行財政改革計画、合併10年・20年の検証、等</p> <p>1-まちづくり総合計画(各期での計画の変化) 2-まち・ひと・しごと創生総合戦略(計画の趣旨) 3-財政健全化計画、行財政改革計画(行財政改革推進方針の趣旨) 4-合併10年・20年の検証</p>	計画の詳細には踏み込まず、概要とする	14
	第3章	財政健全化	<p>各会計決算、基金、残債、財政健全化への道のり(健全化計画の策定と実践・脱却)等</p> <p>1-各会計決算(歳出・歳入の推移) 2-基金、残債、財政健全化への道のり(健全化計画の策定と実践・脱却)等</p>	<p>基本的にリスト</p> <p>●財政健全化の内容を記述する際は、当時の月刊誌「地方財務」の記事が参考になる(事務局で保管) →資料のご提供をお願いいたします</p>	8
	第4章	町議会	<p>町議会体制、議会活動</p> <p>1-町議会体制(議員数や構成の変化)</p>	町長・議会選挙については、資料編	4
	第5章	自治活動	<p>自治会</p> <p>1-自治会(自治会の構成、各自治会の分布図、活動)</p>		4

第4編	2つのユネスコ遺産		第1章=廣瀬亘、第2章=柴田美幸		1
	第1章	<b>ジオパーク</b>	認定まで、活動内容、主な施設	※5月に廣瀬先生から原稿アップ予定です	16
	第2章	<b>入江・高砂貝塚</b>	認定まで、活動内容、主な施設 ○世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」認定までの軌跡 ・世界遺産登録までの経緯(海外へのプロモーション、イコモスの調査、フォーラムの開催など世界遺産登録推進の取り組み) ・構成する17遺跡の中での「入江・高砂貝塚」の位置づけ(ステージと遺跡の概要) ・「アプタ・フレナイの会」の発足および活動、「TOYAKO縄文ガイドの会」の発足とガイド活動 ・「高砂貝塚公園」の整備と「入江・高砂貝塚館」のリニューアル		16
第5編	産業		第1章～第4章=山下恭平		1
	第1章	農林業	<b>クリーン農業(JA中心、ブランド化、グローバルGAP認証等を含む)</b> 、町の施設(雪蔵野菜貯蔵施設、馬鈴しょ貯蔵施設、人参洗浄選別機等) 農協の歴史(JAとうやの合併の歴史など)  第1節 農林業の概要 (1)農業産出額 (2)耕地面積の変化 (3)農業人口の変化 (4)洞爺湖野菜の特徴 第2節 農業施設 (1)雪蔵野菜貯蔵施設 (2)馬鈴しょ貯蔵施設 (3)人参洗浄選別機 第3節 地域農業の新たな展開 <b>(1)クリーン農業</b> (2)六次産業化の展開 (3)ブランド化 第4節 JAとうや湖の歴史 (1)合併の経緯 (2)新規就農者支援 (3)青年部・女性部	国営畑かん、道営土地改良などは扱い小さく  第4節では「雪蔵ジャガイモ」「そうみのり」「豊浦いちご」などを取り上げる予定 ●そうみのり、豊浦いちごは他町の名産なので除外。財田米、赤シソ、大豆などを取り上げる →失礼いたしました。指定の作物を取り上げます  ●林業を追加。森林環境譲与税の活用などを記述 →資料をご提供いただければ執筆可能です  ●旧虻田町時代のJA、漁協の資料が薄い →JA、漁協等へ取材することで、できるだけ資料を補いたいと考えております	24
	第2章	水産業	<b>ホタテ養殖</b> 、その他の魚種、大磯漁港整備、原発処理水海洋放出影響、水産雑物処理、複合漁業、いぶり噴火湾漁協合併史、洞爺湖漁協、等  第1節 水産業の概要 (1)主な魚種ごとの漁業生産額の推移 (2)事業所の概要 (3)漁業従事者の人口の変化 (4)近海で水揚げされる主な魚介類 (5)湖で水揚げされる主な魚介類 <b>第2節 ホタテ貝・ナマコの養殖</b> 第3節 大磯漁港整備・水産物処理施設 第4節 漁協の歴史 (1)いぶり噴火湾漁協の歴史と取り組み (2)洞爺湖漁協の歴史と取り組み		20
	第3章	商工業	<b>道の駅(とうや湖・あぶた)(8)、水の駅(4)</b> 、リフォーム助成、チャレンジショップ  第1節 商工業の概要 <b>第2節 道の駅・水の駅</b> 第3節 商工会の取り組み (1)リフォーム助成 (2)チャレンジショップ (3)コロナ対策助成金	第1節では工業出荷額、小売・卸売業の売上推移、主な事業者を取り上げる予定  ●商工業者を取り上げるのは難しいかもしれない。町内の商工業の変遷・環境の移り変わりなどを書いた方が良い(?) →事業者が難しい場合は、売上・就業者・事業者数の推移などデータを中心	14
	第4章	観光	<b>マンガアニメフェスタ(10)</b> 、洞爺湖温泉誕生100年、インバウンド、コロナの影響、バイナリー発電、火山科学館、洞爺湖ビジターセンター、財田ビジターセンター、自然体験ハウス・キャンプ場等  第1節 観光の概要 (1)入り込み数の推移とコロナ・インバウンドの影響、洞爺湖町の課題 (2)洞爺湖温泉誕生100年の歴史 (3)観光協会の取り組み <b>第2節 マンガアニメフェスタの概要と歴史</b> 第3節 主な観光施設・イベント	商工会などが企画するお祭りも含む  第3節=火山科学館、洞爺湖ビジターセンター、自然体験ハウスなど  ●洞爺湖マラソン、トライアスロン、ツーデーマーチ、産業まつりなどのイベントを記載	24

第6編	福祉・保険・医療	第1章～第3章=金子美里		1
	第1章 医療と保健	<p><b>新型コロナ対応及び検証(10)</b>、医療体制、保健所</p> <p><b>1-新型コロナ対応及び検証(国の体制、国からの補助金、実施調査書の各事業内容、その結果)</b></p> <p>2-医療体制、保健所(保健所数、保健所の事業・活動、新型コロナ対応の内容)</p>		18
	第2章 福祉	<p>地域福祉計画、洞爺湖町社会福祉協議会、各種支援、子育て支援(保育所、子育て支援センター)、高齢者支援(高齢者事業団、老人クラブ)、生活保護</p> <p>1-地域福祉計画(自治会の取り組み)</p> <p>2-洞爺湖町社会福祉協議会、各種支援(障害者福祉施策、子育て支援(保育所、子育て支援センター))</p> <p>3-高齢者支援(訪問介護サービス、高齢者事業団、老人クラブ)、生活保護</p>		10
	第3章 社会保険	<p>介護保険、国民健康保険、後期高齢者保険、国民年金、等</p> <p>1-介護保険、国民健康保険、後期高齢者保険、国民年金</p>		4
第7編	地域づくりと交流	第1章～第4章=井上由美		1
	第1章 地域生活の変遷	<p>?</p> <p>1/町民主体の地域おこし 2/外国人材の受け入れ</p>	<p>執筆者から各項目に関する詳細あり</p> <p>※生活史の聞き書きを提案させていただきましたが、あらためて考えると4ページではたいした内容を盛り込めません。民間の自主的な地域づくり活動を紹介すべきだと思うのですが、いかがでしょうか。</p> <p>※洞爺湖町地域担当職員制度は、自治会カテゴリーでしょうか？</p> <p>※ふるさと納税(洞爺湖町応援団)、名誉町民、地域活性化企業人(ANAあきんど協定)はどの章に入れるべきでしょうか？</p> <p>●地域担当職員は自治会カテゴリーに入れる。名誉町民関連は資料編で扱う</p>	4
	第2章 地域振興	<p>地域おこし協力隊、「酪農学園大学との連携」「住民サービスのデジタル化(とうやコイン・公式LINE等)」</p> <p>1/地域おこし協力隊(2014～)</p> <p>・雇用形態と応募状況 ・活動内容 ・任期終了後の定住</p> <p>2/酪農学園大学と地域総合交流協定(2009～)</p> <p>・新入生合宿オリエンテーション ・フィールドワーク ・洞爺湖生物多様性シンポジウム</p> <p>3/住民サービスのデジタル化</p> <p>・地域通貨とうやコイン ・応援(えーる)コイン ・公式LINE</p>	<p>※ウチダザリガニ駆除は協力隊の活動でよろしいですか？</p> <p>●ウチダザリガニは協力隊の活動ではないので、環境保護のカテゴリーに入れる</p> <p>●北海道科学大との協定締結も追加</p>	4
	第3章 G8サミット開催	<p><b>G8サミット開催</b></p> <p>1/誘致活動</p> <p>2/サミット推進本部の設置</p> <p>3/推進体制</p> <p>4/イベント</p> <p>5/サミット開催に向けての取り組み</p> <p>6/子どもたちの参加</p> <p>7/サミット本番</p> <p>8/アフターサミット</p> <p>9/洞爺湖サミットのレガシー</p>	<p>町民推進会議など町の対応に重点</p> <p>写真の著作権を確認</p> <p>●主に町で撮影した写真を使用する</p> <p>執筆者から各項目に関する詳細あり</p>	10

	第4章 交流	<p>国際交流(英国青年)、姉妹・友好提携(箱根町・三豊市)、中国安徽省太平湖</p> <p>1/国際交流          ・洞爺国際交流協会(村民英国ツアー、International Festival、地域づくり総務大臣賞)          ・英国青年ボランティアの活動(英会話教室)</p> <p>2/姉妹都市(神奈川県箱根町)          ・中学生使節団 ・応援ツアー ・提携50周年・60周年記念事業</p> <p>3/友好都市(香川県三豊市)          ・小学生交流事業「ふるさと・ふれあいフレンドリーツアー」 ・三豊霊園合葬墓</p> <p>4/友好湖(中国安徽省黄山市太平湖)          ・交流協力協議書の締結(2009) ・中国からの訪問団 ・プロモーション活動</p>	<p>●安徽省との交流は途絶えているため、記述が必要か要検討          →過去の交流の資料があれば、簡単に事実を紹介します。なければ削除します</p>	8
第8編	生活環境	第1章～第6章=大藤寛之		1
	第1章 都市計画	<p>準都市計画(洞爺地区)、景観計画、等</p> <p>1 都市計画          ・都市計画区域</p> <p>2 都市計画構想          ・虻田都市計画 ・洞爺湖準都市計画 ・洞爺湖町都市計画マスタープラン</p> <p>3 土地利用          ・土地利用の状況 ・都市計画道路</p>		6
	第2章 住宅 上下水道	<p>町営住宅の状況、虻田本町地区水源の変更、料金体系、等</p> <p>1 町営住宅          ・町営住宅の整備 ・洞爺湖町営住宅等長寿命化計画</p> <p>2 上水道          ・上水道の整備状況 ・洞爺湖町水道事業経営戦略 ・簡易水道事業経営戦略</p> <p>3 下水道          ・下水道事業の沿革 ・洞爺湖町下水道中期ビジョン</p>		6
	第3章 環境	<p>ごみ処理(広域処理施設更新)、し尿処理、墓地(合同墓)、カーボンゼロシティ宣言等</p> <p>1 衛生事業          ・ごみ処理 ・し尿処理 ・町内一斉清掃 ・洞爺湖町リサイクルセンター花美館          ・洞爺湖町一般廃棄物処理基本計画</p> <p>2 火葬場・墓地          ・火葬場 ・合葬墓</p> <p>3 環境政策          ・洞爺湖町環境基本条例 ・洞爺湖町さわやか環境条例 ・環境宣言          ・洞爺湖町ゼロカーボンシティ宣言 ・洞爺湖町地球温暖化対策実行計画</p>		6
	第4章 公園緑化	<p>噴水公園整備、洞爺湖温泉公園整備、洞爺高校メモリアル公園整備、等</p> <p>1 公園整備          ・噴水広場の整備 ・洞爺湖町月浦運動公園の整備 ・洞爺高校メモリアル公園の整備</p> <p>2 緑化口          ・サミット記念の森 ・植樹活動</p> <p>3 景観整備          ・洞爺湖町景観計画</p>		6

	第5章	道路河川	国道230号新ルート(トンネル)開通、虻田洞爺湖新インター開通、伏見橋崩落、等 1 道路 ・洞爺湖町の道路 ・国道230号新ルートの開通 ・虻田洞爺湖新インターチェンジの開通 2 橋梁 ・洞爺湖町の橋梁 ・伏見橋の崩落と復旧 ・洞爺湖町橋梁長寿命化修繕計画 3 河川改修事業 ・洞爺湖町の河川改修事業		6
	第6章	運輸通信	地域公共交通、光回線整備、JR洞爺駅自由通路整備、バス・タクシー、貨物運送、郵便局等 1 公共交通 ・洞爺湖町のバス事業 ・洞爺湖町のハイヤー事業 ・コミュニティバスの運行 ・ライドシェアタクシーの運行 2 交通政策 ・洞爺湖町地域公共交通計画 ・洞爺湖町の交通支援策 3 鉄道 ・洞爺湖町の鉄道 ・JR洞爺駅自由通路の整備 ・洞爺湖町の郵便事業 4 通信 ・洞爺湖町の電話事業 ・地域FM ・インターネットの整備		6
第9編	治安と防災		第1章～第3章=井上由美		1
	第1章	治安	事件・交通事故、消防洞爺出張所完成、防犯協会、交通安全協会、等 1/防犯 ・洞爺湖町国民保護計画の策定(2007) ・非核平和の町宣言(2008) ・暴力追放・防犯の町宣言(2009) / 洞爺湖町暴力団排除条例(2012) ・交番と駐在所 ・事件、事故件数 ・防犯協会の活動(歳末地域安全運動など) 2/交通安全 ・交通安全の町宣言(2009) ・防犯・交通安全マップの作成(2015) ・通学路等安全推進会議(洞爺湖町通学路等交通安全プログラム)(2017) ・交通安全町民運動推進委員会 ・交通安全協会の活動(パトライト運動、交通安全教室、安全旗の設置) ・安全運転指導会		6
	第2章	消防と救急	火災件数、消防・防火活動、救急出動 1/消防 ・消防機構の変遷(広域連携) ・消防庁舎と機材配置(洞爺湖支署・洞爺出張所) ・消防水利(消火栓と防火水槽) ・火災件数 ・洞爺湖消防団(分団、日本消防協会特別表彰、消防出初式) ・民間防火組織 2/救急 ・通信指令業務の一元管理(西いぶり消防指令センター) ・救急出動(メール配信サービス) ・救命講習会(e-ラーニング) ・新型コロナウイルス対策本部の設置(2020)	※第2節=消防団員の叙勲は入れますか？ ●消防団員の叙勲は資料編に入れる	6

	第3章	防災	<p>2000年噴火の教訓、有珠山火山防災マップ、防災訓練、津波ハザードマップ、防災協定、各種災害の記録(道庁史料)・対策</p> <p>1/有珠山の噴火史 2/2000年噴火の教訓 ・気づかされた課題・復興計画 ・災害遺構エコミュージアム構想(自然博物館) ※ジオパークで扱うべきか? 3/洞爺湖有珠山マイスター制度(2008)減災のテトラヘドン 4/洞爺湖町地域防災計画の策定(2015策定・2025改訂) ・洞爺湖町災害時要援護者避難支援計画(2011)・本編・地震・津波防災計画 ・火山防災計画・水防計画 5/21世紀の災害の記録 (東日本大震災/崩落事故/胆振東部地震/北海道三陸沖地震/大雪災害ほか) 6/防災組織 ・防災会議・災害対策本部の役割分担 7/ハザードマップの作成 ・有珠山火山防災マップ・土砂災害ハザードマップ(2021)・津波ハザードマップ(2022) 8/次の災害に備える ・有珠山噴火メモリアル委員会・防災訓練(津波防災訓練/有珠山火山噴火総合防災訓練) ・防災行政無線・防災備蓄 ・減災教育(火山・砂防フォーラム、中学生避難所開設体験、講演会) ・防災情報の発信(防災ガイドブック/SNS)・災害ボランティア 9/広域連携の取り組み ・有珠山周辺地域強靱化計画(2020) ・防災協定の締結(西胆振6市町村、三豊市、箱根市など)</p>	<p>物語虻田町史別巻(2003)以降 ●2000年噴火当時の記述も一部含む</p> <p>※ヒグマ対策など有害獣対策は防災に入れますか? ●ヒグマは環境カテゴリーに入れる</p> <p>●エコミュージアム、マイスターは一部内容が重複してもジオパークと両方で扱う</p>	24
第10編	教育と文化		第1章～第5章=柴田美幸		1
	第1章	学校教育	<p>教育委員会制度、小中学校の統廃合、洞爺高校閉校、小中一貫教育への動き、学校給食センター等</p> <p>○全国的な動向(おもに戦後から現在まで) ○旧虻田町の教育 ○旧洞爺村の教育 ○洞爺湖町の教育(平成18年の合併以降) ○小中学校 ○高等学校 ○コロナ禍での教育 ○学校給食(統合後もそれぞれの旧町村の2施設体制)</p>		20
	第2章	社会教育	<p>体育館・文化施設、文化団体、スポーツ団体</p> <p>○社会教育の推進 ・洞爺湖町内の社会教育団体(12団体)の概要と、おもな活動(総会資料一覧より) ・社会教育関連施設の概要(ふれあいセンター、読書の家、遺跡関連施設、体育館、資料館など)</p>	<p>※社会教育団体については「虻田の歴史を考える会」「洞爺湖町(虻田町)バレーボール協会」など、旧町村からの団体あり? ●虻田の歴史を考える会は、虻田郷土研究会として活動</p>	10
	第3章	アイヌ文化振興	<p>アイヌに関わる国の動き、虻田アイヌ協会、ウトウラノ完成と活用</p> <p>○独自のアイヌ施策 ・国のアイヌ文化施策の変遷と概要(民族共生象徴空間「ウポポイ」の設立) ・洞爺湖アイヌ協会(虻田アイヌ協会)の設立と活動 ・洞爺湖町アイヌ民族共生拠点施設「ウトウラノ」の設置と活用</p>	<p>●アイヌ関連の資料が薄いため、内容を検討中 →後日、協議したいと思います</p>	18

	第4章	文化芸術	<p>ピエンナーレ(10)、洞爺湖芸術館、道・町文化財、とうや音頭保存会、等</p> <p>○文化財 ・虻田地区(プロビデンス号来航の地、和田屋茂兵衛墓碑、入江馬頭観世音碑、大磯馬頭観世音碑、白井坂碑、二十三夜塔) ・洞爺村地区(浮見堂、地神塔、頌徳碑、栄藤)</p> <p>○芸術への取り組み ・洞爺村国際彫刻ピエンナーレ ・洞爺湖芸術館</p>	<p>※掲載は道や町の文化財に指定されているものに絞る？左記は社会教育課HPにあるもの。「虻田の歴史を考える会」が編さんした「虻田の史跡文化財一覧」には、貝塚や鉱山跡などを含め、もっと多く記載されている。</p> <p>●洞爺地区のちょうさ、湖畔の彫刻群、無形文化財(獅子舞)なども記述</p>	14
	第5章	宗教	<p>寺院、神社、等(物語虻田町史「教育・文化編編」(2001)では充実、洞爺村史は神社と寺院のみ)</p> <p>○アイヌ民族の信仰 ○開拓民と信仰 ・神社(虻田神社、虻田稻荷神社、恵比寿神社、虻田金比羅神社、月浦八幡神社、洞爺湖神社、泉八幡神社、花和神社など)※現存するものに絞る ・寺院(亮昌寺、皇恩寺、法蔵寺、大真寺、日蓮宗虻田教会、立泉寺) ・教会(キリスト教団洞爺湖教会、虻田福音キリスト教会)</p>	<p>取り上げる基準を決める。</p> <p>※新興宗教(天理教など)入れる？時代などで取り上げる基準を決める。</p> <p>●現在活動する宗教団体は掲載する →現在活動する宗教団体に、設立の経緯や現在の活動についてのアンケートを送りたいと思います</p>	6
		編集後記			1
		奥付			1
			※資料編・年表等は、別建てを検討する	※各編に扉1p	526